



耐久高等学校同窓会報

耐久



2年生ロングハイキング
10月13~14日

体育祭
9月23日

NO. 39



ごあいさつ

同窓会長 大西義弘 (高16期)



若船の二手になりて上りけり
 早春の候 同窓会員の皆様には、お健やか
 にお過ごしのことと存じます。
 今年も西年です。「西」という漢字には成熟
 実るといふ意味があるようです。また、商売



繁盛や幸運をとり込むなど縁起の良いものと言われています。本年は、実り多い幸せな年にしていきたいものです。

さて、昨年8月から9月にかけて、本校に保管されている歴史資料の整理作業をいたしました。蔵書は、幕末から明治時代の耐久舎時代、有田高女、旧制耐久高校、耐久高校と受け継がれてきたものです。

今回の作業は、清水校長が打ち出した「耐久リバース」の一環として、耐久の160年以上の歴史をこれらの蔵書から見つめ直すと同時に、蔵書が津波被害等に遭わないように上階へ移動させるために行ったものです。

和歌山大学の橋本特任準教授、県立文書館の藤主査・須山副主査、奈良文化財研究所浜田客員研究員、和大的学生、本校の先生方や

生徒、同窓会役員など数十名が数回作業をしました。今後も作業を続けていく予定です。

今年「本部及び有田耐久会総会」の年です。会員の皆様は、この機会に「耐久史学館」や蔵書の見学に、是非母校へお立ち寄りください。

今、本校では校長はじめ先生方が一丸となり、「耐久リバース」の学校改革に全力を上げ取り組んでおられます。同窓会役員と致しましては、出来る限りの応援と協力を所存です。

本年も、会員相互の親睦や旧交を温め、さらに「関東・関西・和歌山・有田耐久会」との交流をより深めて、楽しく魅力ある同窓会となるよう努めて参りますので、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

同窓会活動報告

2016(H28)年

- 8. 7 学校所蔵歴史資料整理作業 (学校) (8/10・23・9/19・22)
- 10. 2 会報編集委員会 (学校)
- 10. 9 関西耐久会総会 (ホテル大阪ペイタワー)
- 10. 9 組織強化支援事業高37期同窓会 (鮎茶屋)
- 13. 2 第2回「志学ゼミ」(学校)
- 15. 7 稲むらの火まつり (広川町役場～八幡神社)
- 11. 7 四役会 (学校)
- 29. 7 耐久リバースを支援する会 (学校)
- 12. 12 会報編集委員会 (学校)

2017(H29)年

- 1. 2 組織強化支援事業高65期同窓会 (橋家)
- 27. 2 本部・有田耐久会役員新年会
- 30. 2 会報編集委員会 (学校)
- 2. 28 卒業生クラス代表との懇談会 (学校)
- 3. 1 第69回卒業証書授与式

支 部 連 絡 先	和歌山耐久会	関西耐久会	関東耐久会	有田耐久会
	会長 田 辺 善 彦 〒640-8144 和歌山四番丁26番地の2 田辺法律事務所 Tel 073-431-2801	副会長 西 田 賢 一 郎 幹事長 地 引 民 子 〒563-0017 大阪府池田市伏尾台3-8-1 Tel 072-753-1219	会長 大 野 博 司 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-12-1002 株式会社 オフィスコ コロ 桜パンケット Tel 03-3359-9520	会長 吉 松 敏 隆 〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅1985 耐久高等学校・同窓会事務局 Tel 0737-62-4148

「世界津波の日」高校生サミット
若き防災大使 和歌山県プログラム

海外29カ国の高校生（若き津波防災大使）による高校生サミットが高知県で開催され、その事前学習として、11月24日（木）、津波防災に関する「スタディツアー」が本校で行われた。

16カ国127名の海外高校生が訪れたこの一大イベントは、本校創始者濱口梧陵先生の遺徳による国連「世界津波の日」制定と大きく関わっている。

午前中、オープニングは全校生徒による歓迎アセンブリー。生徒による英語での司会、歓迎スピーチ、基調発表、そして吹奏楽部の演奏や学校生活の紹介など、海外生徒に耐久高校を存分にアピールできる内容だった。その後、4グループに分かれての体験型の防災スクール。バケツリレーによる消火訓練・起震車による震度7の巨大地震体験・教室に煙を充満させた煙体験・ペットシートと新聞紙を活用した簡易トイレ作りなど、楽しみながら防災について学んだ。

午後からは「広村堤防」や「稲むらの火の館」「湯浅町重伝建地区」などを巡るフィールドワークを行った。「世界津波の日」の制定意義や梧陵翁の功績、さらに往時の湯浅の生活様式や産業（醤油）について学んだ。

これらの歓迎アセンブリーや防災スクール、フィールドワークは、自ら名乗りを上げた約120名の本校生徒が説明やエスコートを担当した。当日はオールイングリッシュで海外からの高校生と交流を深めながら、梧陵の生き様や在り方、郷土、母校への認識をさらに深める素晴らしい経験となった。参加した生徒は、「これまで経験したことがないぐらいの集中力で準備を重ねてきました。極度に緊張しましたが、努力した分、自分の英語が伝わったときの喜びや達成感はひとしおでした」と、充実感と自信に満ちた笑顔が印象的であった。



広村堤防にて



防災スクール 簡易トイレ作り



フィールドワーク



防災スクール 消火訓練

<p>小畑産業株式会社 代表取締役 小畑 英三 (高18期) 〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地 TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505 ei-kobata@kbts.jp</p>	<p>有限会社 衣奈不動産鑑定所 不動産鑑定士 衣奈 伸和 (高18期) 〒643-0004 湯浅町湯浅2026-5 豊國ビル TEL 0737-65-3066 FAX 0737-62-4066</p>	<p>株式会社 柏原運送 柏原 政夫美 (高19期) 〒643-0032 有田郡有田川町天満 60-1 TEL (0737) 52-5235 FAX (0737) 52-5630</p>	<p>株式会社 和通 代表取締役 中田 實宏 (高17期) 〒640-8341 和歌山市黒田279-4 TEL 073-475-0310 FAX 073-475-0320</p>	<p>田辺法律事務所 弁護士 田辺 善彦 (高14期) 〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2 TEL 073-431-2801 FAX 073-433-2299</p>
---	--	--	--	--

志学ゼミ講師の先生方

卒年	氏名	勤務先
S59	青山 歓生	和歌山工業高等専門学校
H12	石田 義貴	株式会社フォーラル
H7	石橋 昭人	済生会和歌山病院
S61	狗巻 正紀	(株)島精機製作所
S49	浦口 高典	県議会議員、ニッケンスクール高典塾・代表
H26	小幡 和輝	和歌山大学生、学生起業家、 和歌山活性プロジェクトWAKA 代表
H12	小畑 智哉	(株)タイランホールディングス PLUS ONE
S60	貞 喜子	有田市立病院
S55	田中 誠二	(株)エデュケーションリンクス
S59	谷井 康人	谷井農園
S52	谷岡 義則	きのくに信用金庫 公務・地域サービス室
H23	中前 匡揮	角谷整形外科病院
H41	西 博義	稲むら火の館・名誉館長、 わかやまスポーツ伝承館(週1日)
H15	濃中 里奈	きび森の保育所
S59	原山 享大	(有)フィールドハウス
H15	的場 亮介	田甫モータース
H24	湊 彩実	有田川町役場
S57	宮井 将博	宮井クリニック
H13	森本 真輔	(株)丸十家具
H13	山本 英之	和歌山県庁 商工観光労働総務課

【敬称略】

第2回「志学ゼミ」

●目的

社会の様々な分野で活躍されている本校卒業生の方々から、自らの「生き様」や「人や社会との関わり」等についてのお話をお聞きし、それに関して生徒が質問や感想等を出し合い、社会への理解や認識を深めることを目的とする。
また、現在のキャリアに至るまで積み重ねられてきた努力や葛藤、大切にされていること等をお聞きすることで、生徒が将来への展望や設計に対して、前向き、具体的に考えるきっかけとする。

●日時：平成28年10月13日(木)
13時00分～15時50分

●対象：第1学年(203名)

●概要

- 約60分間のゼミを、生徒を変えて、2回実施。
- ゼミは、講師先生お一人と、約10名の生徒で構成。
- ゼミの内容は、上記目的に則した講師先生からの講話と、生徒との質疑応答等。
- 各班ごとに1教室を使用。パワーポイント等ICT使用。

●生徒感想文

お話の中で一番印象に残っているのは、「大学時代にさまざまなバイトをし、その中から自分に合うものを選びたい」とおっしゃっていたことです。私はまだ将来、何をしたらいいかが決まっていません。そんな時、石田さんのお話を聞いて、このような将来の決め方もあるんだなど、一つ学ぶことができました。まずは進学を目標に勉学に励もうと思います。

1・6 上野山 幸

中前さんのお話で一人前の人として生きていく為に大切なことをたくさん学びました。特に就職一年目のお話がとても印象に残っています。担当していた患者さんの死という大きな悲しみを経験され、一歩前に前進できた中前さんはかっこいいと思いました。これから生きていくうえで立ち直れない



いほどの大きな挫折があったとしても、ほんの少しのきっかけを自分のものにして、自分を成長させていきたいと思いました。これからの学校生活で自分を育てられるように頑張ります。

1・2 土岐 侑成

谷岡さんの志学ゼミを受けて私が一番勉強になったことは社会のマナーや人間性をきちんと守ると言うことです。社会に出る為に大事なものは勉強だけではないと改めて思いました。私自身が可燃性になれているかと考えていた時、人からどう思われているか不安で答えられなかった私に、「自信を持って」と優しく言って下さって嬉しかったです。日常生活を送る上で「ありがとう」や「おかげさまで」といった人への感謝の気持ちや謙虚な気持ちを忘れず日々頑張ろうと思いました。

1・5 太田 和希

<p>Total Printing System ICHIJYO 株式会社 一条 和歌山市湊紺屋町2丁目30番地 Tel.073-423-6950 (市民会館前) Fax.073-423-6955</p>	<p>総合ビルメンテナンス・特定人材派遣 (株)ウイ・キャン・コーポレーション 取締役会長 岡 伸彦(高14期) 代表取締役 岡 勇作(高19期) 大阪市旭区中宮4丁目14番9号 TEL 06-6954-0346 FAX 06-6954-0577</p>	<p>ペットと泊まるログハウスの宿 パートナーズハウスゆあざ 横山 享 (高14期) 湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411 URL:http://www.partnershouse.jp</p>
---	---	--

「同窓会館建設」夢の実現にご理解とご協力を！

特集

今こそ、濱口梧陵翁の精神に学ぼう

耐久リバーズを支援する会 代表 西 博義 (高19期)



で、わが耐久高校の創立者・濱口梧陵翁の偉業が原点になり、11月5日と制定された。

それを受けて「高校生サミット」が開催され、前日に16か国127名の高校生が耐久高校を訪問し、稲むらの火の館でも体験学習が実施された。

私は「稲むらの火の館」名誉館長として午後の一行の訪問に備えるとともに、朝から校内で開催された歓迎会、全体集会、消火訓練、地震体験などさまざまな行事も見守った。

世界各国から選ばれた優秀な生徒たちと英語で語り合う耐久生は、いつもよりもたくましく、輝いて見えた。

私は、四年前に政界を引退してから、地元有田に帰る機会が多くなった。地元では母校・耐久高校の話題がよく出るが、「最近の耐久生はよく挨拶してくれる」とか、「服装がきっちりしている」という話を聞く。何度となく教室にお邪魔して授業の様子を見せてもらっても、熱心に授業に集中し、先生の講義も興味深い。

しかし、数年前までは耐久高校の評判は思わしくない状況が続き、同窓会でも学校から現状を聞いたりして、現状を打開する方策を議論してきた。

2014年春、耐久高校に清水博行校長が着任され、翌年に「耐久リバーズ」と呼ばれる教育方針を発表された。



のを機会に、校長の方針を支えようとする「母校の現状と未来を考える会」を、新たに「耐久リバーズを支援する会」と名称を変更して校長を支えていくことになった。

しかし、同窓会役員の経験もない私には荷が重く、せめてできるだけ頻繁に学校へ行こうと、月に一回を目標に学校に通い始めた。

さつそく、学校が1学年を対象に企画している「志学ゼミ」に20名の講師陣として同窓生の協力を依頼した。

二年目の昨秋は幸いにも、私自身も講師として教壇に立たせていただき、後日生徒から丁寧なお手紙をいただき、感激した。

一昨年の12月23日には国連で世界津波の日が採択された折には、すぐに大西会長にお願いして校舎正面と線路側に記念懸垂幕を寄付していただき新年早々、祝賀の垂れ幕が校舎正面を飾った。

校長はじめ教職員の皆さんには、献身的な努力をさせていただいているが、耐久高校再生への道は、容易な道ではない。

卒業生の私たちにできることは何か、地域発展のためにも皆さんの積極的なご支援・ご協力をお願い申し上げます。

濱口梧陵翁の生誕は1820年6月15日、生誕200年まであと3年となった。耐久高校に係る全ての人々が、梧陵翁の功績を称えるとともに、「地域社会のために」という翁の精神を受け継ぐ機会にしたいものだ。



プロフィール

- ・ 昭和23年10月3日生まれ
- ・ 昭和42年3月 耐久高校卒業
- ・ 昭和48年3月 徳島大学大学院修了
- ・ 平成4年11月 和歌山工業高専退官
- ・ 平成5年7月 衆議院議員初当選
- ・ 平成24年11月 衆議院議員引退
- ・ 平成28年3月 現職



「高校生サミット」稲むらの火の館にて

「先生！それは僕の役目です。代わってください！」大きな声で列の先頭に向かって急ぐ男子生徒。そのとき聞いた真剣な生徒の声は今でも耳に響く。それは昨年11月24日、「世界津波の日」を記念して開催された津波防災に関する「スタディツアー」の行事でのことであった。

世界津波の日は一昨年末の国連総会

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意ください。

関西耐久会

秋晴れや傷心癒す耐久会

7月、則岡会長が急逝という訃報を聞き、幹事一同大きなショックを受けました。3月の末に、みなで和歌山牟三荘を訪れ楽しいひと時を過ごしたとき、あんなに元気だったのに、これからもっと一緒に関西耐久会を盛り上げていきたいと思っていたのに、それぞれが大きな喪失感を持ちました。

しかし、10月にはいつもの総会が待っています。各期の幹事がさらに力を込め同期の方にお知らせをし、出席者を募りました。18期の方々も「ヒロムが寂しがるから」と有田から出席。各地の耐久会の代表様、湯浅・広川両町長様、耐久高校校長・教頭・事務局長様を加え、130名の参加で、今年も盛大に総会を開催することができました。

則岡宏牟会長に黙祷を捧げた後、10期の萩平・13期の菊山ミュージックコンビのリードのもと、声高らかに校歌の斉唱から総会が始まりました。西田副会長(12期)が、則岡会長の遺志を引き継いで今後も関西耐久会をみんなで盛り上げていくと力強く挨拶をし、本部同窓会大西義弘会長の心温まるご祝辞、



清水博行校長から耐久高校生の頑張りのご報告をいただき、総会を終えました。

今回は落語会です。桂福車師匠による本物の落語「酒の粕」「ねずみ」の2題も聞くことができ、和やかな気持ちにさせていただきました。どうして、テレビに出てくるような福車師匠が耐久会に?何と、10期の山本文代さんと12期の中崎栄子さんが師匠の叔母さんだったのです。師匠もおぼちゃんにはかありません。お忙しい中かけつけてくださいました。

懇親会の前に上山湯浅町長、西岡広川町長から町の様子を聞き、7期梅本元虎風荘寮長の乾杯のご発声で懇親会開始。19期の曾根さんのハワイアンで、懇親会も盛り上がり、みんなで歌い楽しい雰囲気がいっぱいになりました。若者の最後のエールも恒例になりました。紀州の味覚も嬉しいことです。横山前会長のご尽力で早朝に湯浅から運んでくれ、それを幹事が販売しています。

いろいろな期の方が増え、関西耐久会の広がりが大きくなってきています。毎年15期の出席が多く、幹事の努力に感謝です。19期も地道に増え続けています。31期32期の参加者も多くなりました。宮崎・鈴木司会コンビの影響大です。

来年は10月1日(日)です。どのようなお話が聞けて、どんな喜びがあるのか今から楽しみます。このような楽しい会が出来るのも、年間を通じて幹事が集い、それぞれの仕事を地道に和やかに続けているからです。ぜひ、来年度は準備会にも参加してみてください。

幹事長
地引 民子(高17期)

関東耐久会

関東耐久会 秋の行事

十月二十九日(土)秋のバス旅行を「ほとバスツアー」を利用して行いました。

コースは、富士スバルラインで、紅葉の富士山五合目(散策)——富士ビューホテル(昼食バイキング)——忍野八海(富士山の湧水による神秘的な池見学)——山梨ぶどう狩り(食べ放題)と、当日はお天気にも恵まれ、大変有意義な一日を過ごすことが出来ました。

東 健次(高13期)



有田耐久会

第16回有田耐久会ゴルフコンペ開催

平成28年9月15日(木)、有田東急ゴルフクラブに於いて、恒例のゴルフコンペを開催いたしました。多くの新しい方にも参加していただき、10組40名の盛会となりました。皆さんスコアを気にしながらも、気心の知れた仲間と和気あいあいとした楽しい一日を過ごしました。

今回は大西裕さん(57年卒)がグロス89、ネット69.8で優勝されました。ベストグロス賞は、グロス75の森口郁夫さん(45年卒)でした。

次回は、3月22日(水)に、有田東急ゴルフクラブでの開催を予定しています。皆さんふるって御参加下さいますようお願いいたします。

柏原 政夫美(高19期)

組織強化支援活動



高37期 第三十七期同窓会

平成28年10月9日、秋の三連休の中日に、昭和60年卒業生同窓会を開催致しました。

耐久高校同窓会では、50歳の年に学年同窓会の開催を推奨しており、案内状の経費負担等の支援制度を使わせて頂きました。

さて私達は丙午（ひのえうま）生まれのため、人口ピラミッドはガクンと凹んでいる激減の学年で、競争のない、ゆるい学年だと言われました。そのせいか、我が学年は各々が友達が多く、クラスを越えた交友や絆の強い学年だと思えます。

同窓会は154名と恩師5名の出席となりました。自慢なのは2次会出席者が、なんと132名という事です。本当に幹事一同、嬉しくてたまりませんでした。



司会の伊藤正人君の開会宣言の後、私・川島の代表幹事の開会の辞、物故者への黙禱に続き、恩師を代表して田辺先生のご挨拶、柏原先生の乾杯のご発声により、大宴会がスタートしました。

この日のために児嶋浩君が制作した思いのビデオ「僕らの耐久高校物語」の上映で、笑いと感動があふれ、そしてパワーポイントを使ったクイズ大会で一気に会場はヒートアップしました。中盤には耐久高校の歴史と、創設者の濱口梧陵についてもスクリーンで解説、紹介しました。

最後は延明敏治君の掛け声と共に、全員肩を組んでの校歌斉唱、そして高垣安弘君の閉会の挨拶で締めくくりました。改めて耐久高校の同窓生であることを誇りに感じ、そしてこの学年の皆と同級生であり、友である事に、嬉しさと感謝であふれた一日となりました。

最後に、当日来られなかった同級生、そして先輩・後輩の皆さんに、私達のビデオ「僕らの耐久高校物語」をご覧頂けたら幸いです。

<https://youtu.be/EPwuWahoM14>

幹事代表 川島 忠弘

高17期 高校十七期同窓会「古稀に集う」

十月二十二日（土）和歌山市のホテル「アバローム紀の国」において、十七期同窓会を開催しました。

私たち十七期はオリンピックが開かれる四年に一度、全クラスに呼びかけ開いていきます。今回は出席予定の数名から直前に欠席連絡がありました。四十八名（男子二十八名・女子二十名）が出席し盛大に開催することができました。

受付を済ましホテル内のスタジオで集合写真を撮影し、会場へ移動、開会に先立ち物故者のご冥福を祈り黙禱を捧げました。

開会のスタートは全員声高らかに校歌を斉唱。幹事代表の挨拶に続き、戸石昌男君の発声で乾杯、健康で古稀を迎え、四年ぶりの集いを喜び、懇親会が始まりました。

前回同様に欠席者からのメッセージをプリントし配布しましたが、今回は懇親会の中程で出席者全員にマイクを回し近況報告を行ってもらいました。

可愛い孫守のこと、趣味や夫婦で楽しんでいる旅行のこと、まだまだ元気な現役で頑張っている様子や病気や薬のこと等々、古稀を



迎えた同級生ならではのユーモアたっぷりの楽しいスピーチが続きました。約三時間の宴会も早々とお開きとなり、幹事を代表し籠谷伸一郎君の挨拶と一本締めで次回「東京五輪」の年の再会を誓い閉会いたしました。

お開きの後は前回と同じくホテル内の喫茶コーナーで、出席者のほぼ全員が集まり第二ラウンドが始まりました。

ご出席いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。次回もより多くの参加をお願い申し上げます。

幹事代表 竹内 雅昭

同窓会のご宿泊・ご宴会は有田川温泉へ!!
有田川温泉
魚茶屋
有田市国道42号線沿 Tel 0737-88-5151

MCC 経営サービス協同組合
理事長 東 猛 嗣
(高21期)
〒642-0032 海南市名高502-3
TEL 073-483-7874
FAX 073-483-1015

あつま
東 猛 嗣 (高21期)
●海南店/海南市日方1521-19 TEL 073-483-5535
FAX 073-483-5556

同窓の情報交換のスペースとして会報を活かしましょう。

「同窓会を終えて」



卒業して早4年、私たち65期生は平成29年1月2日に橘家で同窓会を開催しました。卒業4年後の開催は耐久高校では恒例となっております。以下に同窓会の様子とあわせて幹事団の主な活動内容について報告させていただきます。

私たち幹事団は同窓会開催の半年ほど前に顔合わせをすべくSNSを使い連絡を取り合い、その後全体での打ち合わせを計3回行いました。しかし幹事団の中には遠方で暮らしている人や仕事の都合上打ち合わせに参加出来ない人もいたため、SNSにより随時情報交換・意見交換を行いながら当日のスケジュールや役割分担を明確にしていきました。

当日は65期生158名、3年次担任・副

担任の恩師4名、計162名をお迎えしました。開会は和やかな雰囲気の中で幹事代表挨拶を行い、その後は恩師代表で宮崎先生より乾杯のご発声を頂きいよいよ同窓会が始まりました。

当日の主なイベントは、ビンゴ大会・男女別グランプリ・DVD上映の3点を計画しました。はじめのビンゴ大会については、目玉となる商品を決定したうえで全体の予算を考え、商品の購入はネットショッピングを利用しました。ネットショッピングを利用する決め手となったのは、主要商品が現物ではなくパネルと目録(商品引き換え申込書)であったため、当日に商品の持ち帰りがなく参加者にとってもメリットがあると考えました。実際にパネルによる商品掲示、目録による商品の贈呈は好評をいただき事となりました。次に男女別グランプリは「学力・運動・お笑い・ルックス」の4部門において当日参加者の中でNo.1を決定する事としました。当日の受付時に参加者名簿とアンケート用紙を配布し開会までに投票していただきました。アンケート結果は同窓会の終盤で発表し、受賞者には500円QUOカードの贈呈と記念撮影を行いました。反省点としては、数名の幹事により当日のアンケート結果を集約する事が予想以上に時間を費やしてしまつた事でした。事前作成した書類(参加者名簿・アンケート用紙)や当日のアンケート集約等、幾つか苦勞もありましたが大盛況で終える事が出来たので良かったと思います。最後にDVD上映については閉会直前に約15分間にわたり高校時代の写真をBGMにあわせてスライドショーで上映しました。又、当日参加出来なかつた恩師の方々より一言メッセージもあり会場は歓喜に溢れた様子でした。DVD作成の準備期間中は写真の収集やDVD編集、実際に耐久高校へ向くなど時間を要しましたが皆さんの反応を



見ると本当にやって良かったなと思ひ感極まりました。そして開会から約2時間半があつたという間に過ぎ、終始笑顔に溢れた同窓会が閉会となりました。

今回の同窓会を通じて皆さんがそれぞれに感じた事は様々だと思ひます。しかし共通して一人一人が「仲間」の大切さを改めて感じた事でしょう。4年ぶりの再会となつた今回の同窓会でも、あの頃と変わらない様子で笑いあえる「仲間」がいる事は本当に幸せな事です。高校時代に苦樂を共にしたかけがえのない時間はこれからも私たち65期生の成長の糧となり続けていく事でしょう。そして更に成長した姿で次回会える日を楽しみにしています。

幹事代表 梅本 健太郎

<p>医療法人大和会 宮井クリニック 宮井 将博(高34期) (一部予約制) 泌尿器科 一般外科 TEL 0737-22-3333 〒649-0433 和歌山県有田市宮原町須谷533-1 診療時間 午前9:00~12:00 午後4:00~6:30 休診日 土・日・祝日</p>	<p>日本料理 うさ丸 前田利三(高12期) 有田郡湯浅町宇舎前 TEL 0737(63) 2929</p>	<p>洋ラン専門 杉浦園芸 杉浦 美也子(高25期) 〒649-0313 有田市千田1555 TEL (0737) 82-2955 FAX (0737) 82-0305</p>	<p>橘家 橋爪正文(高39期) Wedding Hall TACHIBANA 〒649-0434 有田市宮原町新町17 ご予約は TEL 0737-88-7005 FAX 0737-88-7775 URL http://www.tatibanaya.jp</p>
---	--	---	--

貸し出し用校章小旗と名札を用意しています。同期会の集いに、ご利用下さい。(事務局)

27年度予算・決算書

耐久高等学校同窓会

平成27年4月1日～平成28年3月31日

1. 収入の部

	27年度予算額	27年度決算額	増 減	備 考
入 会 金	1,030,000	1,027,500	-2,500	全日制 201名*5,000 定時制 9名*2,500
会 報 広 告	100,000	98,950	-1,050	会報36・37号広告代
会 報 協 賛 金	150,000	118,920	-31,080	有田耐久会他より
寄 付 金	150,000	0	-150,000	
雑 収 入	30,000	5,318	-24,682	預金利息他
収 入 計	1,460,000	1,250,688	-209,312	
前 期 繰 越 金	1,389,838	1,389,838	0	
積立金会計より	3,894,992	3,894,992	0	史学館整備費
収 入 合 計	6,744,830	6,535,518	-209,312	

2. 支出の部

	27年度予算額	27年度決算額	増 減	備 考
1. 運 営 費				
会 議 費	20,000	840	-19,160	役員会
渉 外 費	30,000	5,000	-25,000	タイムス広告費
負 担 金	40,000	31,000	-9,000	県高等学校同窓会連絡協議会参加費他
旅 費	100,000	102,200	2,200	各支部総会出席旅費他
運 営 費 計	190,000	139,040	-50,960	
2. 活 動 費				
総 会 費	300,000	85,734	-214,266	総会諸費用
母 校 援 助 費	4,494,992	4,485,836	-9,156	史学館整備費・全国大会出場祝他
同 窓 会 報 費	600,000	505,234	-94,766	会報36・37号印刷、郵送代他
助 成 費	150,000	160,200	10,200	各支部・期への援助
雑 費	140,000	17,997	-122,003	振込料他
活 動 費 計	5,684,992	5,255,001	-429,991	
3. 諸 費				
事 務 費	40,000	9,036	-30,964	切手、はがき代他
慶 弔 費	80,000	10,050	-69,950	記念品他
払 戻 金	50,000	5,000	-45,000	転出生
諸 費 計	170,000	24,086	-145,914	
支 出 計	6,044,992	5,418,127	-626,865	
4. 繰 出 金				
基 本 金	103,000	102,750	-250	きのくに信金定期へ
積 立 金	0	0	0	
同窓会館設立基金	100,000	100,000	0	ゆう貯定額へ
繰 出 金 計	203,000	202,750	-250	
5. 予 備 費	496,838	0	-496,838	
支 出 合 計	6,744,830	5,620,877	-1,123,953	
次 期 繰 越 金		914,641		

同窓会会計について

※収入…27年度は、入会金として全日制 5,000 円・定時制 2,500 円を終身会費として頂いています。(中途転校・退学の場合は返金)他に同窓生各期や個人からの協賛金や寄付金など。

※支出…クラブ支援、国際交流、講演会、会報などの学校援助に直接・間接に還元。卒業後は、同窓生間や母校の情報を名簿や会報を通じて提供、各期の同窓会開催に援助、母校の支援、会の運営費ほか。

郵便振替口座の開設について (口座番号) 00900-5-298293 (口座名称) 和歌山県立耐久高等学校同窓会 (加入者払込局) 湯浅郵便局

絆 男子バスケットボール部の巻

部活OB・OGたちの

僕たち男子バスケットボール部は、現在二十二名と顧問の先生とともに、和歌山県ベスト4を目標に日々練習に取り組んでいます。

昨年十一月に開催された、ウインタークップ和歌山県大会では、田辺工業高校と対戦しました。試合開始序盤から相手のペースで試合を展開され、最大20点差をつけられました。チームの雰囲気もだんだん悪くなり、「このまま負けてしまおうのではないか」と弱気になっていました。しかし逆境の中、キャプテンが「まだまだいけるぞ。追いつけるぞ」とチーム全体に声をかけてくれました。その言葉のおかげで、チームの雰囲気が変わり、少しずつ点差を詰め、試合終盤で20点差を追いつき、最終的には75対70で逆転勝ちすることができました。次の二回戦では、和歌山北高校に敗れてしまい、ベスト4には入ることはできませんでした。しかし、この大会では、「最後まで諦めない心と、仲間と喜びを分かち合う嬉しさ」を学ぶことができました。ウインタークップ和歌山県大会で学んだことを新人戦や県高校総体で活かせるように、また一から気を引き締めて毎日の練習を積み重ねていきたいと思えます。これからも応援よろしくお願ひします。

主将 2年 嶋田 日向



ま

同窓 俳壇

・ものの芽のほぐれて匂ふ日和なり
濃中 かよ子 (高女27期)

・小綬鶏の呼び声忙し山笑ふ
古川 美代 (高13期)

・紀州路の秋は黄金のみかん山
同窓 歌壇
楠本 弘子 (高女28期)

・旧友と巡る京都は霧深し
坂本 康寛 (高18期)

・露草の殊更青く群れて咲く
今年限りの蜜柑の畑に
下野 香代 (高20期)

◎昨年師走、一年の世相を表す恒例の「今年の漢字一字」(主催 日本漢字能力検定協会)に「金」が選ばれました。理由はリオ五輪の「金」メダルラッシュ、前東京都知事の政治資金など政治と「金」を巡る問題、マイナス「金」利の初導入、イチロー選手のドリッグ通算三千本安打達成の「金」字塔などです。

因みに平成七年、阪神淡路大震災の年に始まった「今年の漢字」。

最初に選ばれたのが「震」、0

157食中毒事件や狂牛病な

どの発生で大騒ぎした翌年が「食」。今回で二十二回目とな

りますが、同じ漢字が選ばれたのは「金」だけで、シドニー五輪(平成十二年)、ロンドン五輪(平成二十四年)の年にも選ばれています。思わず三年後の東京五輪の年にも選ばれるかも期待してしまいました。毎年「漢字一字」を揮毫している清水寺の森清範貫主曰く、「金には最高のモノという意味があり、来る年が良い年となるようにとの願いを込めて」書かれたそうです。

◆ご献金に感謝

・有田高女同窓会様

毎回のご支援に感謝申し上げます。

『編集後記』

「世界津波の日 高校生サミット」の事前学習として16カ国の高校生が湯浅・広川町でフィールドワークを実施し、本校生徒120人が重伝建地区や広村堤防などを英語で案内し交流を深めました。耐久は県下高校の国際交流の先駆け、立派にその役割を果たしてくれました。

表紙のロングハイキング(高野山から有田川町清水まで)は昭和55年から始まりました。その前年、当時の先生方数人が40kmを歩き企画立案し、今や伝統的な名物行事となっています。

昨夏、本校に保管されていた膨大な数の蔵書整理作業が行われ、和木の先生や学生、同窓会役員など数十人が作業に参加しました。今後も作業を続けていく予定です。

特集は「耐久リバースを支援する会」代表の西博義さん。最近の耐久生の様子や「志学ゼミ」への参加など耐久への熱い思いが語られています。

関西・関東・有田耐久会の催し、各期同窓会のにぎやかな記事が寄せられました。37期生は50歳を迎えられました。

「絆」では、男子バスケット部が紹介されました。文武両道を目指し頑張ってください。

会報編集では、毎回「特集」記事を誰に書いてもらうか悩みます。若い世代の執筆も期待しています。自薦・他薦をお待ちしています。

